

最終総合評価に伴うモニタリングチェックシート（令和7年度）

<評価>

施設名	東大泉児童館・東大泉児童館学童クラブ・東大泉児童館第二学童クラブ
指定管理者名	株式会社ポピンズエデュケア
評価者	指定管理者選定委員会

優：特筆すべき実績・成果が認められるもの
 良：管理運営が良好と認められるもの
 要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> 「指定管理における情報の保護および管理に関する特記事項」等を踏まえ、情報セキュリティ規程や運用マニュアル等を整備するなど、必要な対策を講じているか 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか 労務環境調査の指導・助言事項について必要な対策を講じたか 環境法令の遵守および環境負荷の低減に取り組んでいるか 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区と同等の個人情報の取扱いを確保するため独自に規程等を設けているほか、職員研修の実施等により適切な情報の管理に取り組んでいる。 労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。 労務環境調査で指摘された育児介護休業法の最新規定に対応するための改定が行われていなかったことについて、速やかに改定し、改善に取り組んだ。 節電等により、環境負荷の低減に努めている。 会計規程に従い、適正な会計処理を行っている。
2 施設運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか 計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 施設の利用状況は良好か 利用者アンケート等の評価は良好か 運営協議会の評価は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等による意見・要望に細やかに対応し、サービス水準の維持・向上に取り組んでいる。 こどもの権利研修等の業務内容に応じた研修を行い、職員の育成に努めている。 個々の良さを認め合い、励ましあうことができる友だちづくりをサポートするなど、人権に対する取組が評価できる。 苦情処理の規程と体制が整備されている。 児童館の来館者数は3年間の平均で35千人であり、利用状況は良好である。 利用者アンケートによる満足度は、3年間の平均で児童館は97.0%、学童クラブは97.8%、第二学童クラブは100%であり、利用者からの評価は良好である。 運営協議会の評価は良好である。
3 施設の維持管理・安全性への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか 損害保険等の加入状況は適切か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理を適切に行い、記録を整備している。 緊急時のマニュアルを整備し、利用者の安全に配慮している。 施設の修繕に関する報告等、区への報告が適切に行われている。 特別区自治体総合賠償責任保険の被保険者であることを確認している。
4 効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置がされているか 業務の再委託における範囲は適切か 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 収支計画が提案どおり達成されたか その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 法令等の基準を満たした適切な職員配置がなされている。 再委託の範囲は適切である。 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業が中止や延期となったが、指定期間を通して概ね計画通り事業を実施した。 収支計画の提案どおり、概ね目標が達成された。
5 施設特性に応じた管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 区が求めた取組を適切に実施しているか 事業者の提案に基づく取組が適切に行われているか その他、選定の際に設定した取組の評価 	良	<ul style="list-style-type: none"> イベント実施に当たって、児童館利用児童と学童クラブ在籍児童が一緒に楽しめるように企画するなど、区が求める「一体的な施設運営」が行われている。 事業者からの提案により、敬老館の利用者が覚えたバルーンアートによる小学生との交流や、保育園のお楽しみ会への参加などのイベントを行った。敬老館と保育園が併設されている施設特性を活かし、日常的に交流事業を行っている点が評価できる。 学童クラブでは、条件付き障害児を受入れた。職員が個別計画を作成し、安心安全な保育を実施した。
6 地域への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 区民雇用および障害者・高齢者の雇用促進を図っているか 再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか 物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか 地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区民雇用の促進に努めており、区民雇用率は3年間の平均で77.3%である。 再委託および物品調達の際に、可能な限り区内事業者の活用に努めている。 学童クラブ在籍児童の学校に伺い、担任と情報共有し、学校応援団まつりには学童クラブ職員がブースを出すなど、学校と協働・連携をしながら、施設運営をしている。
総合評価 良	(講評)	項目全般について、区が求める基準を満たしている。組織体制は適正であり管理運営も適切に行っている。また、利用者アンケートの評価も良好である。